

平成28年12月美馬市議会定例会議事日程（第4号）

平成28年12月20日（火）午前10時開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
- 日程第 2 議案第72号 美馬市木屋平複合施設条例の制定について
議案第73号 美馬市交流センター条例の制定について
議案第74号 美馬市買物支援施設条例の制定について
議案第75号 美馬市簡易水道事業の一部を美馬市水道事業に統合すること
等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
議案第76号 美馬市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数
に関する条例の制定について
議案第77号 美馬市証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について
議案第78号 美馬市行政組織条例の一部改正について
議案第79号 美馬市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正につ
いて
議案第80号 美馬市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条
例等の一部改正について
議案第81号 美馬市職員の給与に関する条例の一部改正について
議案第82号 美馬市税条例の一部改正について
議案第83号 美馬市国民健康保険税条例の一部改正について
議案第84号 平成28年度美馬市一般会計補正予算（第3号）
議案第85号 平成28年度美馬市国民健康保険特別会計補正予算（第2
号）
議案第86号 平成28年度美馬市介護保険特別会計補正予算（第2号）
議案第87号 平成28年度美馬市簡易水道事業特別会計補正予算（第1
号）
議案第88号 平成28年度美馬市水道事業会計補正予算（第1号）
議案第89号 平成28年度美馬市工業用水道事業会計補正予算（第1号）
議案第90号 美馬市シカ肉等処理加工施設の指定管理者の指定について
議案第91号 中尾山森林総合利用施設等の指定管理者の指定について
議案第92号 美馬市木屋平交流施設の指定管理者の指定について
- 日程第 3 議案第93号 物品購入契約の締結について
- 日程第 4 閉会中の継続調査について

日程第 5 議員派遣の件について

平成28年12月美馬市議会定例会会議録（第4号）

◎ 招集年月日 平成28年12月20日

◎ 招集場所 美馬市議会議場

◎ 開 議 午前10時00分

◎ 出席議員

1番	藤野 克彦	2番	浪越 憲一	3番	都築 正文
4番	田中 義美	5番	中川 重文	6番	林 茂
7番	武田 喜善	8番	郷司千亜紀	10番	井川 英秋
11番	西村 昌義	12番	国見 一	13番	久保田哲生
14番	片岡 栄一	15番	原 政義	16番	川西 仁
17番	三宅 共	18番	谷 明美	19番	前田 良平
20番	武田 保幸				

◎ 欠席議員

なし

◎ 地方自治法第121条の規定により説明のために出席した者の職氏名

市長	藤田 元治
副市長	栗栖 昭雄
政策監（企画総務部長）	加美 一成
地方創生推進総局長	上谷 敏也
保険福祉部長	平井 佳史
市民環境部長	佐藤 充生
経済建設部長	奥村 敏彦
水道部長	武田 光男
プロジェクト推進総局長	四宮 明
消防長	武田 浩二
保険福祉部理事	川口 種満
経済建設部理事	山田 一弘
プロジェクト推進総局理事	矢田 孝志
木屋平総合支所長	江口 文之
企画総務部秘書課長	住友 礼子
企画総務部企画政策課長	西野 佳久
会計管理者	井関 敏秀

代表監査委員	松家 忠秀
教育長	光山 利幸
副教育長	緒方 利春
理事（文化・スポーツ課長）	中川 貴志

◎ 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	岡 建樹
議会事務局次長	南 佳幸
議会事務局主幹	篠原 純子

◎ 議事日程

議長は、議事日程を別紙のとおり報告した。

◎ 会議録署名議員の氏名

議長は会議録署名議員に次の3名を指名した。

5番	中川 重文	議員
6番	林 茂	議員
7番	武田 喜善	議員

開議 午前10時00分

◎議長（久保田哲生議員）

皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員は全員であります。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元にご配付の日程表のとおりでありますので、よろしく願いをいたします。

日程に入る前に、諸般の報告をいたします。

市長より、議案第93号、物品購入契約の締結についてが提出されております。後程提案理由の説明をいただくこととしておりますので、ご報告をいたしておきます。

以上で、諸般の報告を終わります。

これより、本日の日程に入ります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、5番 中川重文君、6番 林 茂君、7番 武田喜善君を指名いたします。

日程第2、議案第72号、美馬市木屋平複合施設条例の制定についてから議案第92号、美馬市木屋平交流施設の指定管理者の指定についてまでの21件を一括し、議題といたします。

この件につきましては、所管の常任委員会に付託しておりますので、各委員長の報告を求めます。

開催順にお願いいたします。

初めに、産業常任委員長、藤野克彦君。

◎1番（藤野克彦議員）

議長、1番。

◎議長（久保田哲生議員）

1番、藤野克彦君。

[1番 藤野克彦議員 登壇]

◎1番（藤野克彦議員）

おはようございます。それでは、議長のご指名がございましたので、産業常任委員会の審査結果につきましてご報告を申し上げます。

本委員会は今期定例会において付託されました議案第75号、美馬市簡易水道事業の一部を美馬市水道事業に統合すること等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定についてから議案第77号、美馬市証人等の実費弁償に関する条例の一部改正についてまでの条例案件3件、議案第84号、平成28年度美馬市一般会計補正予算（第3号）のうち所管分及び議案第87号、平成28年度美馬市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）から議案第89号、平成28年度美馬市工業用水道事業会計補正予算（第1号）までの予算案件4件、議案第90号、美馬市シカ肉等処理加工施設の指定管理者の指定についてから議案第92号、美馬市木屋平交流施設の指定管理者の指定についてまでのその他案件3件、以上10議案について、審査のため去る12月13日に委員会を開催いたしました。

出席の委員は私を含め6名であります。

付託されました議案の審査に当たり、関係部署より詳細なる説明を求め、慎重に審査をいたしました結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

それでは、質疑の内容について、その一部を報告いたします。

まず、委員から議案第75号、美馬市簡易水道事業の一部を美馬市水道事業に統合すること等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定についての中で、「国の施策で平成28年度末までに簡易水道事業を上水道事業に統合するということであるが、木屋平地区が入っていない理由は何か」との質疑がありました。理事者からは、「木屋平の簡易水道4事業については、上水道の給水区域から移動距離が10キロメートル以上離れているため、今回の統合の対象になっていない。そのため、簡易水道として存続し、四つの簡易水道を一つの簡易水道に事業統合するものである」との答弁がありました。

次に、議案第76号、美馬市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定についての中で、「農地利用最適化推進委員の権限はどのようなものか」との質疑がありました。理事者からは、「農業委員会総会での議決権はないが、総会での意見や報告を求められるほか、農地等の利用の最適化の推進について意見を述べることになる。また、遊休農地の発生防止や解消に向けた農地パトロール、担い手への農地集積、農地の貸し手や借り手の掘り起こし活動を行うこととなる」との答弁がありました。

次に、議案第84号、平成28年度美馬市一般会計補正予算（第3号）のうち所管分では、「美馬道の駅整備工事関連で、農業振興費と都市環境整備費の予算が大きく増減した理由は何か」との質疑がありました。理事者からは、「道の駅で整備する地域振興施設は建物が約800平方メートルの施設で、そのうち500平方メートルについて農産物の直売所やレストランを計画している。当初は国土交通省の補助金である都市環境整備費を充てていたが、利益を生む施設には補助金が認められないということで、加工所や直売所が対象になる農林水産省関連の補助金に振り替えたことによる予算の増減である」との答弁がありました。

次に、農業振興費の中で「畜産ブランド強化プロジェクト事業補助金とは何か」との質疑がありました。理事者からは、「美馬町で阿波尾鶏を飼育している方の鶏舎が一昨年の台風で壊れたので建て替えを行うもので、事業主体に対し補助金を交付する。阿波尾鶏は県のブランドであるとともに推奨の農畜産物にもなっており、県が4割補助を行う」との答弁がありました。

また、当委員会は調査未了の事件について閉会中の継続調査を決定し、議長まで申出書を提出いたしました。

以上で、産業常任委員会の委員会報告を終わります。

◎議長（久保田哲生議員）

次に、福祉文教常任委員長、林 茂君。

◎6番（林 茂議員）

議長、6番。

◎議長（久保田哲生議員）

6番、林 茂君。

[6番 林 茂議員 登壇]

◎6番（林 茂議員）

皆さん、おはようございます。ただいま議長の許可をいただきましたので、福祉文教常任委員会の審査結果につきまして、ご報告を申し上げます。

本委員会は、今期定例会において付託されました議案第84号、平成28年度美馬市一般会計補正予算（第3号）のうち所管分から議案第85号、平成28年度美馬市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）及び議案第86号、平成28年度美馬市介護保険特別会計補正予算（第2号）までの予算案件3件について審査のため、去る12月14日、委員会を開催いたしました。

出席の委員は、私を含め7名であります。

付託されました議案の審査に当たり、詳細なる説明を求め、慎重に審査をいたしました結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、当委員会に付託されておりました陳情書等の5件につきましては、審査の結果、今後の議会活動の参考とするとともに、全議員に写しを配付することといたしましたので、よろしく願いをいたします。

それでは、質疑の内容について、その一部を報告いたします。

まず委員から、議案第84号、平成28年度美馬市一般会計補正予算（第3号）のうち所管分では、老人福祉費の市民後見人養成研修委託料に関して、「事業の内容と対象者数の把握について」との質疑がありました。理事者からは、「社会福祉協議会へ委託し、市民後見人養成に伴う講座を開いてもらう事業で、最初の講座に参加された9名に対してのフォローアップの研修を行うものである」との答弁がありました。

続いて委員から、認定こども園の建設事業費の境界確定業務委託料に関して、「建設予定地は国土調査が終わっているはずだが、それに対して入札をするのか。委託料が高いのではとか、また、地権者の人数は」との質疑がありました。理事者からは、「建設予定地には分筆するところもあり、筆界未定のところもある。そういうところを確定していくため、専門家のルールに従って算出した予算である。予算を認めていただいたら、入札または随意契約により適正に執行していきたい。また、地権者は現在14名である」との答弁がございました。

続いて委員から、社会福祉総務費の臨時福祉給付金に関して、「何年計画か。また、対象者の人数は」との質疑がありました。理事者からは、「平成29年4月から平成31年9月までの2年半の分を前倒しして一括支給するものである。対象者は住民税が非課税の者、また税法上の扶養義務者が非課税の場合は、その扶養されている者も対象となり、1万5,000円を支給するもので、8,000人を見込んでいる」との答弁がございました。

また、当委員会は調査未了の事件について閉会中の継続調査を決定し、議長まで申出書を提出いたしました。

以上で、福祉文教常任委員会の委員長報告を終わります。よろしく願いいたします。

◎議長（久保田哲生議員）

次に、総務常任委員会委員長、中川重文君。

◎5番（中川重文議員）

5番、中川。

◎議長（久保田哲生議員）

5番、中川重文君。

[5番 中川重文議員 登壇]

◎5番（中川重文議員）

ただいま、議長のご指名がございましたので、総務常任委員会の審査結果を報告いたします。

本委員会は、今期定例会において付託されました議案第72号、美馬市木屋平複合施設条例の制定についてから議案第74号、美馬市買物支援施設条例の制定についてまでの3件及び議案第78号、美馬市行政組織条例の一部改正についてから議案第83号、美馬市国民健康保険税条例の一部改正についてまでの6件、合わせて条例案件9件、議案第84号、平成28年度美馬市一般会計補正予算（第3号）のうち所管分の予算案件1件、以上10議案について審査のため、去る12月15日に委員会を開催いたしました。

出席の委員は、私を含め6名であります。

付託されました議案審査に当たり、詳細なる説明を求め、慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

それでは、質疑の内容について、その一部を報告いたします。

まず委員より、議案第79号、美馬市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正についてでは、「現在、介護休暇の承認を受けている職員はいるのか」との質疑があり、理事者から「今現在及び過去3年間は介護休暇を取得している職員はいないが、町村合併後11年間では3名が取得している」との答弁がありました。

次に、議案第84号、平成28年度美馬市一般会計補正予算（第3号）のうち所管分では、委員から「地域交流センター管理運営計画の策定委託について、その具体的な中身は。また、委託する業者の選定はどのような業者を考えているのか」との質疑があり、理事者から、「具体的な中身として、運営母体としてどういったものが最も適しているか。また、指定管理者制度も含めて検討していく。管理運営計画としては、貸出し事業と自主事業のバランスや収支計画も含めて検討していく」とのことでした。

次に、「非常備消防費の消耗品費で、少年消防クラブの内容は。また、美馬市内に何名いるのか」との質疑があり、理事者から「防火・防災思想の普及を図ることを目的として結成している。平成27年5月現在、全国では約4,000クラブ、約42万人のクラブ員が活動している。年齢は10歳から18歳までで、美馬市内では平成28年6月、穴吹小学校で16名による穴吹少年少女消防クラブが結成されている」との答弁がありました。

また、当委員会は調査未了の事件について閉会中の継続調査を決定し、議長まで申出書を提出いたしました。

以上で、総務常任委員会の報告を終わります。

◎議長（久保田哲生議員）

以上で、各常任委員会委員長の報告は終わりました。

これより、ただいまの各委員長報告に対する質疑に入ります。

ただいまのところ、質疑の通告はありませんので、質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

ただいまのところ、討論の通告はありませんので、討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより採決をいたします。

議案第72号、美馬市木屋平複合施設条例の制定についてから議案第92号、美馬市木屋平交流施設の指定管理者の指定についてまでの21件について、一括採決を行います。

議案第72号から議案第92号までの21件については、各委員長報告はいずれも原案可決であります。

お諮りいたします。議案第72号から議案第92号までの21件については、各委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（久保田哲生議員）

異議なしと認めます。よって、議案第72号から議案第92号までの21件については、原案のとおり可決されました。

次に、日程第3、議案第93号、物品購入契約の締結についてを議題といたします。

本件につきましては、本日市長から提出された議案であります。提案理由の説明を求めます。

◎市長（藤田元治君）

議長、市長。

◎議長（久保田哲生議員）

藤田市長。

[市長 藤田元治君 登壇]

◎市長（藤田元治君）

皆さん、おはようございます。

ただいま上程をいただきました議案第93号、物品購入契約の締結について、ご説明を申し上げます。

この案件は、本年3月定例会において予算の議決をいただきました平成28年度徳島県へき地診療所設備整備事業木屋平診療所医療機器導入事業といたしまして、木屋平複合施設内に移転をいたします木屋平診療所に全身用エックス線CT装置を新たに購入するものでありまして、去る12月12日、指名競争入札を執行し、現在仮契約を締結しているものでございます。

契約の金額は2,764万8,000円。契約の相手方は、徳島市応神町応神産業団地4番地30、大島器械株式会社、代表取締役、大島浩輔様であります。

原案のとおりご可決くださいますよう、お願いを申し上げまして、提案理由の説明とさ

させていただきます。どうぞよろしくお願いをいたします。

◎議長（久保田哲生議員）

以上で提案理由の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありますので、発言を許可いたします。議席番号5番、中川重文君。

◎5番（中川重文議員）

5番、中川。

◎議長（久保田哲生議員）

5番、中川重文君。

[5番 中川重文議員 登壇]

◎5番（中川重文議員）

ただいま、議長より議案質疑の許可をいただきましたので、貴重な時間をおかりしますが、通告の議案質疑をさせていただくことにします。

議案質疑は今までに幾度となくいろいろなご意見をいただきながらさせていただいていますが、今回、先程上程されました議案に対しまして見える化と申しますか、真摯に向かい合い、自分の理解力を補うためと市民の方々により正確に理解していただくことを視点において議案質疑をしていますので、市民目線に立った易しい言葉でわかりやすく説明をよろしくお願いいたします。

それでは早速、通告の議案質疑をさせていただきます。通告の議案質疑は先程上程されました議案第93号、物品購入契約の締結についてであります。先程藤田市長より契約の目的、契約の金額、契約の相手方、契約の方法等ご説明いただきましたが、更に1歩踏み込んで少し詳しくお伺いしたいと思いますので、ご答弁の程よろしくお願いいたします。質疑の要旨としては4項目程事前通告しています。

まず1点目として、本契約についての予算計上から仮契約に至るまでの経緯を時系列的にご説明願いたいと思います。

次に2点目として、仮契約の金額に対しましての財源内訳のご説明をよろしくお願いいたします。

更に3点目として、指名競争入札の結果状況の説明を、幾らの予算金額に対して何社応じ、どのぐらいの応札価格状況だったのかをご教授願いたいと思います。

最後の4点目として、今回の医療機器導入に対して今後どの程度の維持管理費用等が年間必要とお考えになっているのかをお伺いしますので、ご答弁の程よろしくお願いいたします。

以上、4点の内容説明を求めますので、よろしくご答弁の程お願いします。

◎保険福祉部長（平井佳史君）

議長、保険福祉部長。

◎議長（久保田哲生議員）

保険福祉部長、平井君。

[保険福祉部長 平井佳史君 登壇]

◎保険福祉部長（平井佳史君）

私のほうから、5番、中川重文議員さんより議案質疑をいただきました件についてお答えをしてみたいと思います。

まず、第1点目のご質問でございますけれども、「この契約についての予算計上から仮契約に至るまでの経緯は」とのご質問でございますが、まず、予算計上につきましては、先程市長も述べられましたけれども、本年3月定例会におきまして、平成28年度美馬市国民健康保険特別会計、直営診療施設勘定に当初予算として提案をさせていただいております。そして、平成28年3月24日にご議決をいただいたものでございます。

その後、平成28年4月14日付にて徳島県へ平成28年度医療施設等整備費国庫補助金の申請をいたしました。

そして、7月8日開催の第5回指名審査委員会で指名業者を選定し、補助金の内示後の11月14日に指名競争入札を実施する予定でございましたが、入札心得第4の規定により入札を取りやめとなりました。

これを受けまして、11月25日開催の第15回指名審査委員会で再び指名業者を選定いたしまして、12月12日に指名競争入札を実施いたしまして、落札業者の決定、仮契約の締結となっております。

次に、第2点目の財源内訳とのご質問でございますが、仮契約の金額は2,764万8,000円となっております、この財源内訳といたしましては、国・県支出金810万円、地方債1,950万円、一般財源4万8,000円でございます。

続きまして、3点目の「指名競争入札の状況は。何社か。また、応札状況」についてのご質問でございますが、指名業者は四国内に営業所を有し、医療機器関連及びエックス線装置を取り扱っております3事業者を指名しております。

また、応札価格の状況でございますが、設計金額は2,800万円に対しまして、落札業者が大島器械株式会社で、その落札額は2,764万8,000円でございます。残り2社のうち株式会社キタムラメディカルの応札額は2,800万円、また残りの1社の株式会社トナミ医療技研は入札を辞退となっております。

次に、最後の4点目のご質問で「今後の維持管理費は」とのご質問でございますが、この物品に係ります保守点検などメンテナンス料は機器導入後2年目以降から発生するものと考えており、約200万円程が必要と見込んでおります。

◎5番（中川重文議員）

5番、中川。

◎議長（久保田哲生議員）

5番、中川重文君。

[5番 中川重文議員 登壇]

◎5番（中川重文議員）

4点ともご丁寧なご答弁をありがとうございました。より一層理解が深まりました。

ご答弁の中で専門的言葉等が幾つか出てまいりましたので、再質疑といたしますか、補足説明を求めさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

1点目として、平成28年の3月議会の当初予算で提案されたとのことでしたが、たしか予算書の中では備品購入費約4,000万円となっていたと思います。今回のように一つの設備で議会の承認が必要なような高額な部品購入でも、備品の扱いなんかなどというところがちょっと普通の庶民というか、市民感覚でいったら、ちょっと備品というのは大きなものに対する小さな細いもんがひっついたんが備品というような感覚的なところがあるんで、そこらをやっぱり設備というんじゃないしに、備品という形の方でやっとなんかというように話でいいのかというか、そういうところをしっかりと説明していただきたいと思います。予算書にもついてたんですけども、備品というんでなくて、もうはっきりしているんであれば、ちゃんと名前も入れていただきたいなと思ったところでございます。

また、2点目として、3月議会で議決後4月14日付で徳島県へ補助金の申請をしたとのことだったかと思いますが、それから約8カ月補助金の内示がなかったとのことでしたが、通常これぐらいの期間を要することは当たり前の事案の物件なんではないでしょうか。それとも、何か別の次元のことで内示がなかなかおりなかったのでしょうか。人の生命にもかかわる備品なので、もっとなぜ早く内示がおりなかったのかと思ひまして、お尋ねしたいと思います。

3点目として、11月14日の指名競争入札が入札心得第4の規定で取りやめになったとのことでしたが、その経緯と内容についてもご教授願いたいと思います。

以上、3点について再質疑といいますか、最初の答弁に対する補足説明としてお伺いしますので、よろしくお願いいたします。

◎保険福祉部長（平井佳史君）

議長。

◎議長（久保田哲生議員）

保険福祉部長、平井君。

[保険福祉部長 平井佳史君 登壇]

◎保険福祉部長（平井佳史君）

5番、中川重文議員さんより再問をいただきましたので、順次お答えをしてみたいと思います。

まず、第1点目でございますが、「高額な物品購入でも備品であるのか」とのご質問でございますけれども、高額な物品につきましても備品の扱いとさせていただいておりますので、よろしくご理解をいただきたいと思います。

次に、2点目の「県の内示はどうして遅れたのか」という再問でございますけれども、県に対しまして再三問い合わせをいたし、催促もいたしておりましたが、県におきましても国の補助金を財源としており、国からの明確な回答が得られなかったため、この遅れた理由といたしますか、その理由は不明でございますので、よろしくお願いいたします。

次に、3点目の入札の取りやめについての再問でございますが、7月8日開催の第5回指名審査委員会で指名業者を8社選定し、11月14日に指名競争入札をする予定でございましたが、仕様を満たす物品の調達が困難であるとの理由により、7社が入札を辞退してまいりました。1社のみのお応えとなりましたことから、入札心得の第4の規定により入

札を取りやめるとしたものでございます。よろしくお願いいたします。

◎5番（中川重文議員）

5番、中川。

◎議長（久保田哲生議員）

5番、中川重文君。

[5番 中川重文議員 登壇]

◎5番（中川重文議員）

再質疑のご答弁ありがとうございました。

最後の質疑であります、あと1点だけ少ししつこいようですが性分なので、一つだけ再度補足説明をよろしくお願いいたします。

入札が第1回目取りやめになったとのことでしたが、8社選定して7社が辞退、残り1社の応札だったので、入札心得により取りやめになったとのことであったと思います。そして、2回目は3社指名と答弁されていましたが、1回目指名業者8社以外の全く新しい業者さんが3社ということの理解でよろしいのでしょうか。この1点だけをお伺いしたいと思います。

以上、質問で質疑の補足答弁を待って、この議案質疑を終えたいと思っています。最後に、くれぐれも申し上げときますが、決してこの議案に異を唱えているものではありません。先日も申し上げたように、人の生命、財産を守るために必要不可欠の備品であることは間違いないと確信しておりますので、思いやりを持って執行していただきたいと願っております。いつも挨拶が後先になって申し訳ございませんが、ご答弁していただいた方にはお礼を申し上げます。また、貴重な時間をいただきまして、誠にありがとうございました。

以上、私の議案質疑をこれで終わりたいと思います。

◎保険福祉部長（平井佳史君）

議長。

◎議長（久保田哲生議員）

保険福祉部長、平井君。

[保険福祉部長 平井佳史君 登壇]

◎保険福祉部長（平井佳史君）

5番、中川重文議員さんより再々問をいただきましたので、私のほうからお答えをさせていただきます。

1回目の指名業者8社以外の新たな指名業者3社かのご質問であったかと思えます。第1回目の指名業者8社のうち応札をした1社に新たな2社を加えて3社の事業者としております。そして、今回ご提案いたしております大島器械株式会社様が落札したものでございます。

以上でございます。

◎議長（久保田哲生議員）

以上で、通告による質疑は終わりました。これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第93号については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略したいと存じますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（久保田哲生議員）

異議なしと認めます。よって、議案第93号については委員会付託を省略することに決しました。

これより、討論に入ります。

ただいまのところ、討論の通告はありませんので、討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより、採決いたします。

お諮りいたします。議案第93号については原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（久保田哲生議員）

異議なしと認めます。よって、議案第93号は原案のとおり可決されました。

次に、日程第4、閉会中の継続調査についてを議題といたします。

お手元にご配付をいたしておりますとおり、閉会中の継続調査について、申出書が提出されております。

お諮りいたします。継続調査については、各委員長の申出書のとおり、それぞれ閉会中の継続調査に付することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（久保田哲生議員）

異議なしと認めます。よって、継続調査については、各委員長の申出書のとおり、それぞれ閉会中の継続調査に付することに決定いたしました。

次に、日程第5、議員派遣の件についてを議題といたします。

お諮りいたします。地方自治法第100条第13項及び美馬市議会会議規則第167条の規定により、お手元にご配付のとおり議員派遣することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（久保田哲生議員）

異議なしと認めます。よって、お手元にご配付のとおり議員派遣することに決定いたしました。

ただいま議決されました議員派遣に変更がありました場合の措置については、議長に委任されたいと思います。

以上をもちまして、本定例会に付議されました事件は全て議了いたしました。

閉会に当たり、市長よりご挨拶をいただきます。

◎市長（藤田元治君）

議長、市長。

◎議長（久保田哲生議員）

藤田市長。

[市長 藤田元治君 登壇]

◎市長（藤田元治君）

平成28年12月美馬市議会定例会の閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し述べさせていただきます。

本定例会も本日最終日を迎えました。議員各位におかれましては、市政各般にわたり終始熱心にご審議を賜り、提出いたしました議案につきましては、全て原案のとおりご可決をいただき、誠にありがとうございました。

ご審議を通じまして、議員各位から賜りました数々の貴重なご意見、ご提言につきましては十分に検討いたしまして、今後の市政運営に反映させてまいりたいと思っております。

さて、国政におきましては年明けに通常国会が召集されまして、平成29年予算案などが審議されることとなっております。このたびの予算案は現在、一般会計の総額を過去最大の97兆4,500億円程度にする方向で調整に入っているとのことでありますが、引き続き一億総活躍社会の実現に向け、第1の矢である戦後最大の名目GDP600兆円、第2の矢である希望出生率1.8、第3の矢であります介護離職ゼロという、いわゆるアベノミクス新3本の矢に沿った施策を推進することを基本方針として予算編成が進められているところであります。

本市といたしましても、今後ともよりアンテナを高く掲げまして、情報収集に努め、こうした国の予算編成の動向を十分に見きわめながら「美来創生のまち美馬市」の実現につながる施策を積極的にしっかりと推進してまいりたいと考えております。

次に、来月の8日から2月19日までの間には、本市の観光大使であります華道家假屋崎省吾先生により「うだつをいける～悠久の美とともに～」がうだつの町並みの吉田家住宅において開催をされます。「うだつをいける」の開催は今回で節目の10回目となりますことから、来月8日には第10回の開催を記念いたしますオープニング特別イベントといたしまして、「花嫁行列とファッションショー」の開催も予定をしております。大変寒い時期ではありますが、開催期間中には市内・外からたくさんの方にご来場いただきたいと存じます。

結びとなりますが、報道関係者の皆様方のご協力に対しても厚くお礼を申し上げたいと存じます。今年も残すところあとわずかとなってまいりました。来るべき新しい年が議員各位及び市民の皆様方にとりまして、希望に満ちた輝かしい年であることを心からご祈念を申し上げまして、閉会のご挨拶にさせていただきます。

大変ありがとうございました。

◎議長（久保田哲生議員）

平成28年12月美馬市定例会の閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、去る11月30日の開会以来、本日まで21日間にわたり、終始ご熱心にご審議を賜り、全ての案件を議了いただいたこと、厚く御礼を申し上げます。

なお、市長を始め理事者各位におかれましては、審査過程において議員各位から表明さ

れました意見や要望を今後の市政運営に十分反映されるよう、お願いをいたすところであり
ます。また、閉会中におきましても各委員会の継続調査が予定をされております。

皆様方におかれましては、市勢発展のためにますますのご活躍を賜りますようご祈念申
し上げまして、閉会の挨拶とさせていただきます。

これもちまして、平成28年12月美馬市議会定例会を閉会といたします。大変お疲
れでございました。

閉会 午前10時46分

会議の経過を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

平成28年12月20日

美馬市議会議長

美馬市議会副議長

会議録署名議員 5番

会議録署名議員 6番

会議録署名議員 7番